

製品名: AR ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07082**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	99kDa

抗原情報

遺伝子名	AR
別名	AR; DHTR; NR3C4; Androgen receptor; Dihydrotestosterone receptor; Nuclear receptor subfamily 3 group C member 4
遺伝子 ID	367.0
SwissProt ID	P10275
免疫原	ヒト AR の内部領域から得られた合成ペプチド。

背景

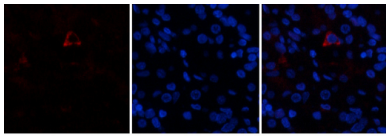
アンドロゲン受容体 (AR) は、核内受容体スーパーファミリーに属するジンクフィンガー転写因子であり、リガンド結合によりリン

酸化および二量体化によって活性化されます。これにより、ARの核局在が促進され、アンドロゲン標的遺伝子内のアンドロゲン応答配列への結合が促進されます。

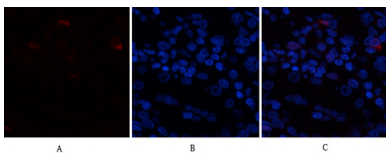
研究分野

卵母細胞減数分裂;がんの経路;前立腺がん;

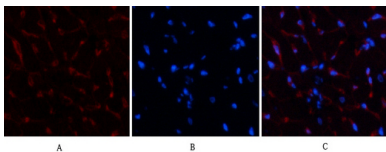
画像データ



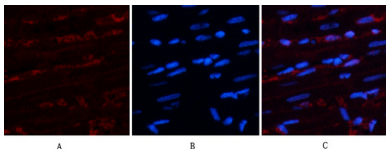
ヒト胃組織の免疫蛍光染色。1, AR ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



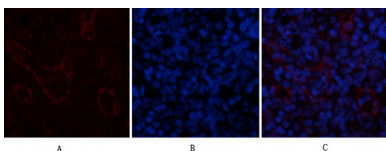
ヒト胃組織の免疫蛍光染色。1, AR ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



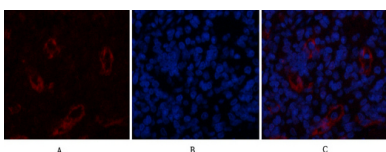
ラット心臓組織の免疫蛍光染色。1, AR ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



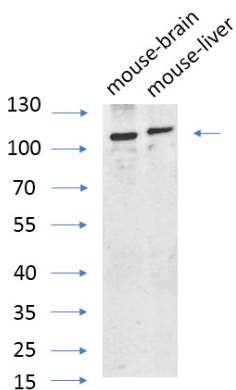
ラット心臓組織の免疫蛍光染色。1, AR ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



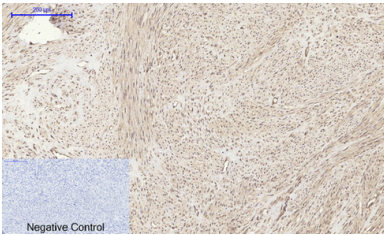
ラット脾臓組織の免疫蛍光染色。1, AR ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B のマージ。



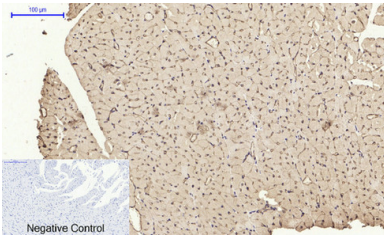
ラット脾臓組織の免疫蛍光染色。1, AR ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B のマージ。



1:1000 希釈の AR ウサギポリクローナル抗体 (4°C、一晚) を用いた各種細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体: ヤギ抗ウサギ IgG IRDye 800 (1:5000 希釈、25°C、1 時間)。



パラフィン包埋ヒト子宮組織の免疫組織化学染色。1. AR ポリクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晩)。2. クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を用いて抗体賦活化 (>98°C、20 分) を行った。3. 二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。ネガティブコントロールとして二次抗体のみを用いた。



パラフィン包埋ラット心臓組織の免疫組織化学染色。1. AR ポリクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晩)。2. クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を用いて抗体賦活化 (>98°C、20 分) を行った。3. 二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。ネガティブコントロールとして二次抗体のみを用いた。